



発行所 一般社団法人 神奈川県造園業協会 横浜市中区常盤町2-10 伸光ビル2階〒231-0014 電話 (045) 662-8793 662-1767 FAX (045) 662-4381



https://www.kanagawazoen.or.jp

### 年頭のごあいさつ

(一社)神奈川県造園業協会 会長 松倉 仁



謹んで新春をお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は大変お世話になりました。誠にありがとうございます。加えて11月20日の協会創立50周年記念式典では各界のご来賓、関係各位にご出席を賜り盛会に行うことができました。あらためて御礼申し上げます。

また多くの会員各位にご参加いただき、委員会の皆様にご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。おかげさまで楽しく賑やかな記念式典となりました。ありがとうございます。

昨年は能登半島地震で年明けとなりました。今も完全な復興は遠いこと、亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。多くの方々にも被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

協会では3月から災害募金を始め、多くの会員の皆様にご協力をいただき、前述の式典で日本赤十字社神奈川県支部長でもあり、黒岩様にお渡ししました。協会は石川県が1日も早く復興できますことを祈ります。とお伝えしました。

昨年は専門部会、各委員とも活発に活動ができました。なかでも各会の専門分野でこれからの造園人に必要と思われる事柄を検討し講習会として座学、実践、野外研修会など開催いたしました。応募人数も多く大変好評だと聞いています。

また県立東部総合職業技術校に毎年講師を派遣しているご縁で、現在カリキュラムには無い研修会を提起しました。「造園人に必要なスキルとは、ナチュラルガーデン(多年草によるランドカバ)研修」と題し、座学と見学実習を試行しました。

この講習会も大変好評で今年の2月にも予定されています。毎年恒例の講習会になることが決定されました。造園の未来、温故知新を造園専門業者の目線や知見で神奈川県造園業協会から発信していきたいと思いま

す。会員の皆様にご理解をいただき知識や技術を持つ方に専門部会、委員会に入会のご協力をお願いし、研鑽を重ね各方面に展開したいと思えます。本年の神奈川県造園業界は明るい話題がたくさんあります。3月より全国都市緑化かわさきフェア春の開催があります。明治記念大磯庭園の公開が昨年11月23日でした。協会は平成30年5月に既存樹木や庭園の垣根、石積などの調査協力をいたしました。春には多くの来園者で賑わうことでしょう。そしてGREEN X EXPO 2027 国際園芸博覧会の開催が控えています。協会として成功の一助を担うため、オールカンガワで全力で協力していきますので会員の皆様のご理解とご協力を是非お願いいたします。

### 新年のごあいさつ

神奈川県知事 黒岩 祐治



あけましておめでとうございませう。

振り返りますと、昨年の元日は、能登半島地震が発生した日でありました。

正月の穏やかな一日を吹き飛ばす突然の大地震に、私自身、大変驚くとともに、いつ起こるか分からない地震災害の恐ろしさを改めて突きつけられた思いでした。

県は、地震発生直後から「災害対策支援チーム」を設置。その後、警察や消防が次々と現地に赴き、被災者の捜索や救助にあたりました。

現地では、断水や停電、通信障害などライフラインの被災が深刻で、在宅避難や住民が自主的に開設した避難所など、避難所不足に悩む被災者も多くいたため、避難者の情報の把握と集約ができない事態が生

じつと信義ある有意義な協会として存立して行く決意を申し上げまして新年のご挨拶といたします。

結びにあたり本年の皆様のご活躍ならびにご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

こうした状況の中、現地入りしていた本県のCIO(情報部門の責任者)により、通信手段を確保するための衛星通信システムの投入や、行政、自衛隊、DMAT(災害派遣医療チーム)等が別々に収集管理していた避難所情報の集約、広域での避難者マスタデータの構築などが行われました。

神奈川県で進めていた防災DXの仕組みを現地に持ち込み、現場のニーズに即した支援を即座に実現することができました。

能登半島地震の被災地の経験を基に、私たちは防災DXをさらにブラッシュアップさせました。通信の断絶に備えて衛星通信システムを導入したほか、孤立地域や土砂災害現場等の被害状況を把握する上で有効な赤外線カメラ搭載のドローンの配備等、デジタルを活用した応急活動体制の整備を進めています。

県政課題へのデジタルの活用は、こうした災害分野に止まりません。

令和7年(2025年)

### 謹賀新年

一般社団法人 神奈川県造園業協会役員一同



- 鈴木 一松 相談役
- 岸本 和好 相談役
- 石川 龍二 相談役
- 小山 俊一 相談役
- 古川 香 相談役
- 大胡 周一郎 相談役
- 松倉 仁 会長
- 川田 秀一 副会長
- 玉井 隆次 副会長
- 原 茂弘 副会長
- 足立 原哲男 副会長
- 瀧川 隆雄 理事
- 岸 純一 理事
- 倉本 澄夫 理事
- 佐藤 三代治 理事
- 鳥海 務 理事
- 相澤 正章 理事
- 石井 豊 理事
- 石井 直樹 理事
- 山田 裕之 理事
- 内田 悟史 理事
- 金子 篤司 理事
- 笠原 和弘 理事
- 藤井 信良 理事
- 小山 博樹 理事
- 岡部 一郎 理事
- 吉川 誠 理事
- 木村 勝順 理事
- 芝口 正美 理事
- 小山 重樹 理事
- 中島 忠 専務理事
- 梅澤 保雄 監事
- 新倉 治 監事

### 表彰コーナー

黄綬褒章表彰

業務精励 卓越技能

神崎勝彦

(株)さがみの園

神奈川県

優秀技能者

倉本澄夫

(株)倉本造園

青年優秀技能者

玉置 陸

(株)湘南グリーンサービス

横浜市

技能功労者

加山善広

(有)好樹園

優秀技能者

梅田真吉

(株)港南植木ガーデン

瀧川佳広

(株)滝川園

神奈川県職業能力開発協会 技能検定関係功労者

小川弘樹

あきやま園

岸 正海

岸造園

# 「みどり行政に関する要望書」

## 神奈川県庁 (及び出先機関) へ提出

(社)神奈川県造園業協会と(社)日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、九月二十七日に神奈川県橋本副知事・西山県土整備局長・尾裕環境農政局長を始めとする幹部職員に対し令和七年度に向け要望書を提出し、新規要望一項目と継続要望四項目について要望しました。

### 新規要望事項

熱中症対策による現場管理費の補正について

継続要望事項①都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の積極的な推進を実現するため緑化関連公共事業予算の確保・増加と受注機会の確保について②造園に関する整備及び維持工事は分離し、指定建設業種である造園専門事業者に発注を、

また、造園技能士等各種資格所有者の在籍している業者への発注について③一般社団法人日本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用と街路樹剪定士を下請けではなく元請けの条件として仕様書の明記について④校庭及び園庭の芝生化の推進並びにグラウンド基礎の整備を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管理工事の造園専門業者への発注について、造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れました。

西山区土整備局長より、「新規要望事項では、熱中症対策について国にもしっかりと伝えていきたい。」

継続要望①では、対前年度比20%、2年前より30%増の予算を確保し取り組んでまいります。

継続要望項目③では、街路樹剪定士の元請条件を増やしており、各土木事務所長にも共有して伝えていきたいと思っております。」との論議が交わされました。これを踏まえて十月十七日、十八日の二日間に行ったり横濱川崎治水事務所をはじめ各土木事務所等県土整備局十一箇所、自然環境保全センター、県央地域県政総合センター等環境農政局七箇所、企業庁水道局寒川浄水場等計十九箇所の出先機関に要望を行いました。



橋本副知事に要望



西山県土整備局長に要望

尾裕環境農政局長に要望

## 病害虫防除講習会

協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催

おりましたのでどうぞよろしくお願いたします。新規要望事項では、国の基準で決まっていますが、本当に暑い状況も理解しており、県としても国へ声を上げてまいりたいと思っております。」

この講習会は農薬散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の大切さについて発注する側の行政と受注する造園関係事業所等が共通認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会で講習会終了後出席者には「修了証」が手渡されました。

なお、令和七年二月五日に実施される講習会について、現在受講希望者を募集しています。申込希望者は協会にお問い合わせ下さい。



病害虫防除講習会の様子

## 街路樹剪定士認定研修会

### 日造協神奈川県支部

令和六年度の「街路樹剪定士認定研修会」は、十月十六日に金沢区福浦の横浜市金沢産業振興センターで座学を、十七日に金沢区幸浦と西柴で実技試験が行われました。

座学受講者は、日造協会員九名・神造協会員十五名、一般十一名、聴講 神奈川県七名の四十二名でありました。



街路樹剪定士認定研修会座学の様子



実技試験朝礼の様子

なお、この度の研修会の設営にあたりましては日造協神奈川県支部技術委員会、横浜市道路施設課、金沢土木事務所、横浜市金沢産業振興センターの皆様のご協力とご支援を頂き有難うございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

資格認定実技試験は六十一名で実施されました。初日の座学では、岩井支部長の挨拶で始まり街路樹に関する基本的事項、病害虫、植栽基盤整備等の講義と、ケース・スタディ、現地剪定及び学科試験を行い、二日目の資格認定実技試験はエンジンとトウカエデの二樹種を対象に行い、主任判定員及び支部判定員らが安全用具や道具の使用法、適確な剪定技術、出来栄などを厳しくチェックしておりました。

街路樹剪定士認定研修会は平成十一年度から毎年実施されています。

## 第二十四回 親睦ゴルフ大会の開催

第二十四回目を迎えた今年

のゴルフ大会は、十月三十日、レイクウッドゴルフクラブで行われました。参加者六十三名(会員六十一名・県議員二名)当日は前日からの雨もスタート時には止み、気持ちよくプレーを楽しんでいました。

各ホールの林とバンカーと池と早いグリーンが精神的プレッシャーになり、スコアも全体的に厳しいものがありました。

優勝は藤沢支部 蛭田圭一氏、準優勝は日造協神奈川県支部相談役 田口正典氏、第三位は東北支部 曾根忠和氏が入賞し、栄えあるベスグロ賞はグロス80で旭支部 峯宇哲也氏が受賞しました。

(有)細野植産間瀬さんにお



優勝 蛭田圭一氏

## 第四十三回 「よこはま技能まつり」に参加

第四十三回「よこはま技能まつり」が十一月三日(日)、横浜市技能文化会館において主催横浜市技能職団体連絡協議会、共催横浜市、横浜市技能文化会館協力で開催され、神造協をはじめ十六の市内の技能職団体が参加し、日頃から磨いているものづくりの職人技を発表・展示し、横浜の技能の素晴らしさを披露し、訪れた人々の賞賛を受けておりました。



四つ目垣の立子の結束の様子

芸相談等が行われました。技能まつり等の一つ一つの取組みが伝統的技術の承継と広がりにつながればと思います。

**公園緑地部会活動報告**  
**「小型車両系建設機械」**  
**特別教育講習会を開催**

技術研修委員会委員長

富永 淳司

神奈川県造園業協会 公園緑地部会 技術研修委員会では、造園業に必要な資格及び講習会の実施計画を立てています。

「小型車両系建設機械」の特別教育講習を9月18日・19日の二日間PCT神奈川あやせ教室所で、十二名の参加を得て開催しました。

引続き11月に「伐木等業務」、1月に「小型移動式クレーン運転技能講習」、2月に「玉掛け技能講習」の3種を順次予定しています。

随時資格のご案内を行いますので、資格未取得の会員様がいらっしゃれば応募の方を宜しくお願い致します。

令和6年度校庭芝生化事業  
 公園緑地部会副部長

北村 善輝

七月三日～九月三十日の間に神奈川県立岩戸養護学校校庭の土壤改良工事及び芝張り工事を施工しました。

綺麗に成長することを願います。

**■ 作庭塾 ■**  
**「庭守」の**  
**活動報告**

情報委員 木下 透

前号(280号)で第1回から第3回までの活動状況はご報告しましたので、第4回以降の活動報告をいたします。

当初の事業計画では年度末まであと4回の講習が計画されていましたが、西林寺での作業量が多くなしきれなかったため、これ以外に4回が追加されました。

第4回・令和6年9月8日(日)は「西林寺(戸塚区岡津町)」にて14名が参加(西林寺打合せ)



(池清掃施工中)

加して池の清掃と土塀の柱立て込みからの作業となりました。

(土塀柱立て込み)



(作業状況)



お寺の建築工事も始まっており現場には遣方が張り巡らされた状態になっていました。

第5回は10月6日(日)に同じく「西林寺」にて12名が参加して土塀の小舞かき付け、屋根下地などの作業を行いました。



(小舞かき付け)



第6回は10月13日(日)が追加され13名が参加で小舞かき付けと屋根葺き作業の続きを行いました。

第7回及び8回も追加されそれぞれ10月27日(日)に6名、11月3日(日)に7名が参加して土塀のあんこ詰め、モミジと台杉の植栽などの作業を行いました。



西林寺での年内作業はこれで一区切りとなり、年明け1月から土塀塗りを行う予定です。

11月10日(日)には当初第6回に設定されていた相模原公園の植栽管理を10名参加で行いました。

講師の渡部氏によれば今回は、機械による草刈りと、植え込みや石の間に生えている雑草を手摘み除草し、高木、中低木、下草類全般の剪定、整枝を行ったそう。前回8月の作業の折に落下の恐れが懸念されていた古木の桜の枯れ枝伐採作業も、高所作業熟練のメンバーがスムーズに行ってくれたようです。これで安心して庭を歩けるようになって

たことでしょうか。

(相模原公園植栽管理作業)



(枝下ろし作業)



(以下2枚施工後)



庭守は2013年から県立相模原公園で活動するようになり、2014年には「衆遊の庭」を完成させ、以来10年に亘り庭の修復や

植栽管理をおこなってききました。この度その貢献が認められ神奈川県造園業協会の50周年記念式典において感謝状が贈られましたので、式典で感謝状を受けた渡部定男講師の報告を以下に付しておきます。

11月25日(月)、公益財団法人神奈川県造園業協会創立50周年記念式典があり、我々「庭守」にも、相模原公園「衆遊の庭」維持管理での長年の貢献活動に対して感謝状を進呈したいという事なので、渡部、福田、鈴木、山田氏4名で行って参りました。

表彰式後の講演も有意義な内容で、先日の協会50周年に於いての涌井氏の講演もそうでしたが、人間始め動物にとって植物、緑というものがいかに大事で、公園の存在も地球環境というマクロ的な問題と人的な維持管理の仕方という問題、どういう意識を持つて



仕事をして行くか、人間として、どう向き合っていくかを改めて考えさせられました。「衆遊の庭」の維持管理

についても気持ちを新たに、地域に根ざした快適な生活空間作りに引き続き貢献していきたいと思えます。



(左から山田班長、鈴木班長、渡部講師、福田代表



※庭守では引き続きメンバーの募集を行っておりますので、入会希望の方は協会ホームページ内「リンク集」(https://kanagawazozen.or.jp/link/)にある作庭塾「庭守」のホームページ(https://www.c-sqr.net/c/0514681)にて団体の趣旨などを理解の上「問い合わせフォーム」にて応募いただくか、協会事務局にご相談ください。

樹木資材委員会活動報告  
**「薬剤製品の説明と有効な使用方法の講習会」**  
 樹木資材委員長 青木 治

去る令和6年9月12日に樹木資材委員会主催の下、神奈川県中小企業共済会館に於いて薬剤製品の説明と有効な使用方法について講習会が開催されました。この講習会の目的は、一般的除草剤の効かない「オシバ」や「ヤブカラシ」などの対策、また害虫では「ルビロウカイガラムシ」や「テッポウムシ」「オリーブゾウムシ」などの対策を学ぶ。また、協会員相互の情報交換を行い知識の向上を図るために開催しました。



説明の様子

講習会の内容は、薬剤メーカー5社から自社製品の解説と、その有効な使用方法の説明を受け、それを基に意見交換を実施しました。参加者38社48人が熱心に聴講し積極的な意見交換がなされ講習会は終了しました。

教育研修委員会活動報告  
**第2回「造園図面を書いてみよう！」**  
 教育研修委員会副委員長 今村あふる

教育研修委員会では、令和6年度の第2回造園技術者育成講座として9月14日に造園図面の理解を目的とした講座「造園図面を書いてみよう!2」を開催いたしました。

今回の講座は、4月に行った第一回目から続く内容となる為、受講は前回の講座に参加された方を対象とさせていただきます。第1回では図面の基礎的な事を学びましたが、今回は図面では伝わりづらいイメージを伝える絵(透視図)



講師による説明



作図

解説いただき、その後実際に平面図と立面図を基に簡単な透視図を描いて、景石や樹木を描く練習を行いました。絵を描くのが苦手な人でもわかりやすく教えていただき、次回の第三回で終了される講座ではあるのですが、来以降も開催されれば喜ばれる講座ではないかと思えます。講師は、教育研修委員会副委員長 若井利允講師

**事務局情報** (月間行事一覧) ●諸会議その他●

月日	概要
12/4 (水)	事業内職業訓練事業補助金遂行状況調査 13:30 ~
12/6 (金)	情報委員会 15:00 ~
12/7 (土)	第10回造園技能士コース 9:00 ~
12/14 (土)	第11回造園技能士コース 9:00 ~
12/21 (土)	第12回造園技能士コース 9:00 ~
12/27 (木)	御用納め
1/6 (月)	御用始め
1/7 (火)	2025年新年造園人の集い(品川プリンスホテル) 17:50 ~
1/10 (金)	造園技能士コース講師会議 13:00 ~
1/11 (土)	第13回造園技能士コース 9:00 ~
1/14 (火)	神奈川県造園人賀詞交換会(ロイヤルホールヨコハマ) 18:00 ~
1/18 (土)	第14回造園技能士コース 9:00 ~
1/25 (土)	第15回造園技能士コース 9:00 ~
2/5 (水)	令和6年度防除関係者講習会(かながわ県民センター2Fホール) 13:30 ~

●会員等名簿の変更● (ホームページ参照)

新入会員

- 瀬谷支部  
 合同会社ケイプラス  
 住所 〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東4-13-5  
 代表者 木原崇吉  
 TEL 090-1424-3382 FAX 045-363-8479
- 戸塚支部  
 榊千織園  
 住所 〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-12-23  
 代表者 平松洋二  
 TEL 045-877-7965 FAX 045-777-0046

住所変更

- 県北支部  
 榊ヤマシゲ  
 〒242-0015 大和市下和田96-1  
 (※TEL・FAXは現在と変更ありません)
- 賛助会員  
 あおい社会保険労務士法人  
 〒231-0011 横浜市中区太田町6-84-2  
 (※TEL・FAXは現在と変更ありません)

TEL変更

- 榊ウスイ植物園  
 TEL (旧) 0467-75-3251 → (新) 0467-75-1100

第3回「樹木の名前を覚えよう」  
 この木なんの木」  
 教育研修委員会副委員長 若井 利允

教育研修委員会では令和6年度の第3回造園技能者育成講座(中が広がる造園人養成講座)として「樹木の名前を覚えよう」この木なんの木」を令和6年10月14日(月・祝)に本牧市民公園に場所をお借りして開催いたしました。この講座は昨年に続き3回目の講座となりますが、毎回多くの方に参加いただいている人気の講座で、今回も43名の方に参加いただきました。講師は102時間講習を担当している川島講師、坂本



散策前の集合の様子



班に分かれての散策の様子

「キノコ研修会」  
 教育研修委員会委員長 内藤 研二

講師、芦垣講師が担当し、3班に分かれて園内を散策しました。私がお手伝いしていた班では実際に葉に触れながらスケッチをしてみました。特徴や質感などに新たな気づきがあったのではないのでしょうか。今度も教育研修委員会では102時間講師による魅力ある講習会の実施を検討いたしますので、是非ともご参加いただければと思います。

11月3日、神奈川県この会平野理事を講師に招き、102時間講師及び副委員長7名が参加し、根岸森林公園の梅林、桜林を中心にカワウソタケ、ウズラタケ、

「普通職業訓練短期過程造園技能士(1・2級)コース」開校

今年度は、十月五日に開校式を行い第一回目の授業が始まりました。この講習会は毎週土曜日15日間の102時間をかけて行う講習会で、職業能力促進法に基づき、「より高度の技術を習得」し「その職業に必要な技能を補充」することを目的とされています。

今年度は、1級2名、2級2名の受講者により実施してまいります。講習終了後、協会会議室で開催され、スルメタケ、コフキタケ、クジラタケ、スエヒロタケなど、平野講師のキノコの知識に触れて有意義な研修会となりました。



開校式の様子